

**例文 1**

「馬鹿」

→「馬鹿」とはどんな意味か？

→「馬鹿」と言われたどう感じる？

**例文 2**

「もう、馬鹿なんだから」

→このように言われたら、どう感じる？

**例文 3**

「おバカ！」

→この言葉にはどのような意図を感じる？

「お」……丁寧語・美化語

**例文 4** 夏目漱石『こゝろ』

たしかその翌の晩の事だと思えますが、二人は宿へ着いて飯を食って、もう寝ようという少し前になってから、急にむずかしい問題を論じ合い出しました。Kは昨日自分の方から話しかけた日蓮の事について、私に取り合わなかったのを、快く思っていなかったのです。精神的に向上心がないものは馬鹿だといって、何だか私をさも軽薄もののようにやり込めるのです。

**例文 5** 夏目漱石『こゝろ』

Kが理想と現実の間に彷徨してふらふらしているのを発見した私は、ただ一打で彼を倒す事ができるだろうという点にばかり眼を着けました。そうしてすぐ彼の虚に付け込んだのです。私は彼に向って急に厳粛な改まった態度を示し出しました。無論策略からですが、その態度に相応するくらいな緊張した気分もあったのですから、自分に滑稽だの羞恥だの感ずる余裕はありませんでした。私はまず「精神的に向上心のないものは馬鹿だ」といい放ちました。これは二人で房州を旅行している際、Kが私に向って使った言葉です。私は彼の使った通りを、彼と同じような口調で、再び彼に投げ返したのです。

**例文6** 夏目漱石『こゝろ』

「精神的に向上心のないものは、馬鹿だ」

私は二度同じ言葉を繰り返しました。そうして、その言葉がKの上にどう影響するかを見詰めていました。

「馬鹿だ」とやがてKが答えました。「僕は馬鹿だ」

★文学の言葉は、私たちが普段に認識している物事やイメージに、異なる側面や意味が隠れていることを教えてくれる。

★文学を学び、そして自ら創作するということは、私たちが無意識に抱えている当たり前の概念や常識を相対化することでもある。